

広報ふたば

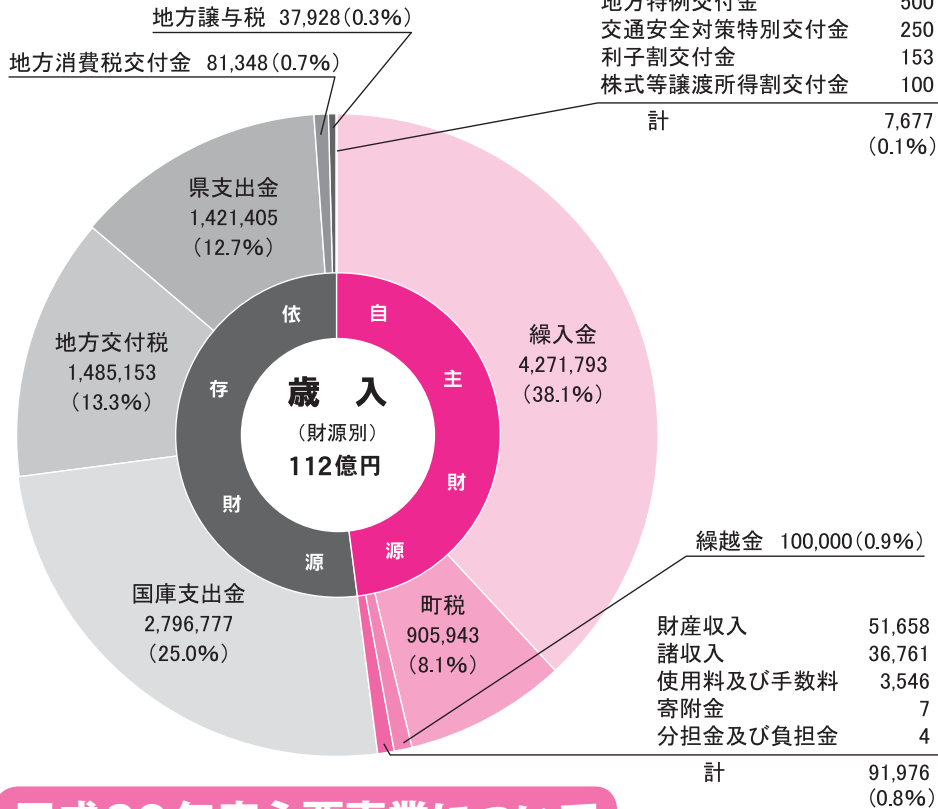


【表紙写真】元気に返事！新一年生（町立小・中学校入学式）



歳入の内訳

(単位：千円・()内は構成比)



平成29年度の当初予算が
決まりました

一般会計当初予算額は前年度対比6億5千万円(6.2%)増の112億円となりました。

国民健康保険特別会計などの6特別会計の予算額が29億5767万7千円となり、一般会計と特別会計の総額は、141億5767万7千円となりました。

平成29年度主要事業について

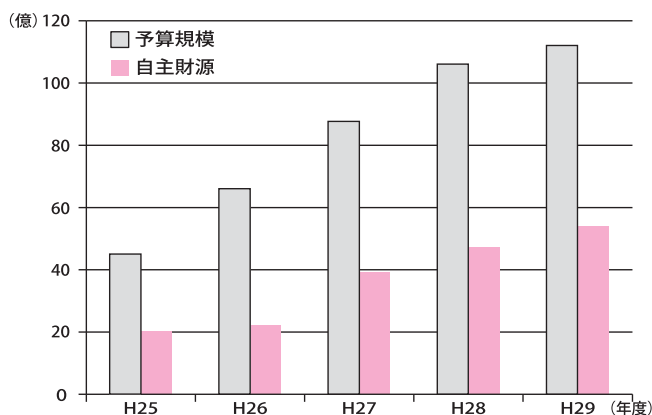
復旧・復興、帰還へ向けての事業

- 共同墓地整備事業 205,724 千円
共同墓地の造成工事・施設整備等を実施します。
- イノシシ等有害鳥獣捕獲業務 22,281 千円
イノシシなどの野生動物による被害を減らすため、捕獲等を実施します。
- 家屋被害認定調査事業 12,327 千円
震災により被害のあった居住用家屋の損壊程度の調査を引続き実施します。
- インターチェンジ整備事業 376,500 千円
(仮称)双葉インターチェンジ整備に伴う工事費負担金や支障物撤去の費用を計上しています。
- 中野地区復興産業拠点整備事業 2,030,268 千円
中野地区の用地補償・設計費用等を計上し、復興産業拠点としての整備を実施します。
- 復興まちづくり実施計画等策定事業 21,028 千円
復興まちづくり計画(第2次)の具現化に向けた取組みを実施します。
- 企業誘致推進事業【新規事業】 34,550 千円
町内事業者の事業再開、新たな民間事業者の中野地区復興産業拠点への立地に向けた取組みを実施します。
- 産業交流センター基本構想策定事業【新規事業】 23,986 千円
産業振興、地域活性化等を目的とした施設の整備に向けた計画を策定します。
- 町道補修・環境整備事業 60,000 千円
町道の補修工事や除草などの整備を実施します。

平成29年度双葉町特別会計当初予算 (千円)

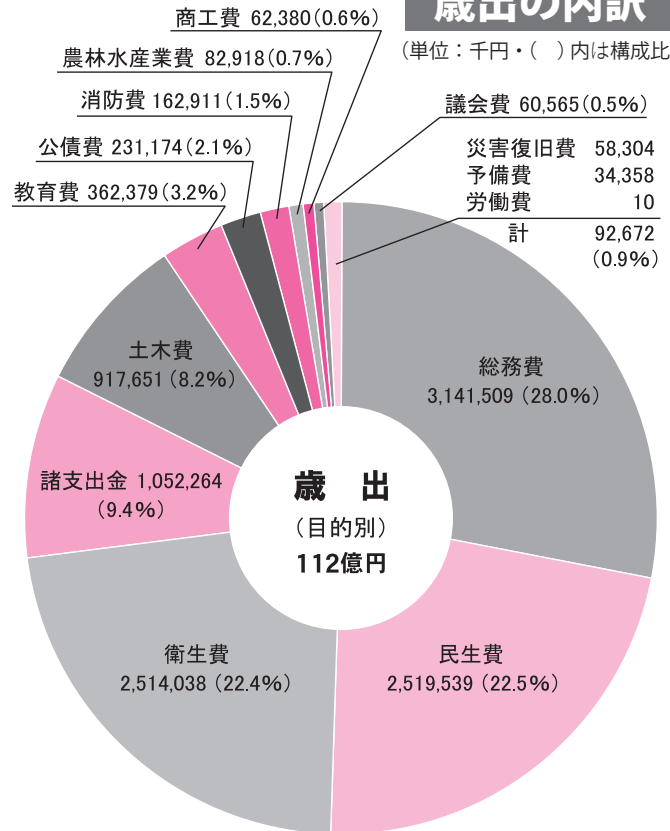
会 計	本年度予算額	前年度予算額	差 額	比 較
国民健康保険特別会計	1,578,338	1,636,985	-58,647	-3.6%
公有林整備事業特別会計	4,632	4,938	-306	-6.2%
公共下水道事業特別会計	260,920	306,299	-45,379	-14.8%
工業団地造成事業特別会計	2,164	2,164	0	0.0%
介護保険特別会計	1,040,337	1,001,274	39,063	3.9%
後期高齢者医療特別会計	71,286	74,180	-2,894	-3.9%
計	2,957,677	3,025,840	-68,163	-2.3%

一般会計当初予算規模の推移



歳出の内訳

(単位：千円・()内は構成比)



町民交流支援・人材育成等の事業

- 敬老会事業** 6,698 千円
 昨年度から再開した敬老会を引続き実施し、町民同士の交流を図ります。
- 町民交流施設事業** 25,027 千円
 町民同士の交流機会の確保を目的とし、いわき市、郡山市、埼玉県加須市に設置します。
- 復興支援員事業** 122,352 千円
 町民のコミュニティ形成のサポート、町内の現状や各種イベントの動画配信支援のため復興支援員を配置します。
- ICTきずな支援システム事業** 196,344 千円
 タブレット端末を活用し、町からのお知らせやイベントなどの情報発信をします。
- 生活サポート補助金事業** 770,080 千円
 中間貯蔵施設整備等影響緩和交付金を活用し、交通費や通信費などの経費について補助します。
- 生徒海外派遣事業** 11,328 千円
 中学生を対象に異文化体験や区域外就学している生徒との交流を目的とした海外派遣事業を実施します。
- 集まれふたばっ子事業** 6,441 千円
 双葉町の小・中・高校生の再会のを設け、様々な活動を通して心の交流、絆を深めることを目的として実施します。
- 絆スポレクふたば補助事業【新規事業】** 2,739 千円
 今年度開催を予定しているふたばスポーツフェスティバルに係る経費について補助します。
- 双葉町次世代支援補助金事業【新規事業】** 20,000 千円
 婚姻による転入者及び出生により新たに双葉町民となった方への支援を実施します。

町民の皆さまへ

平成29年度がスタートして1カ月が過ぎました。いわき事務所協の街路樹も日に緑が色濃くなってきました。

4月3日、双葉町いわき事務所において職員辞令交付式を行いました。今年度は、新たな教育長を迎えるとともに、新規採用職員6名、福島県から派遣職員2名、他自治体から派遣職員5名が加わり、新年度の業務を開始いたしました。新たに加わった職員の中には、双葉町と直接のゆかりがない方もおりますが、震災がなければこのような出会いはなかったのではないかと感慨深く感じています。

さらに、今年度は新たに福井県敦賀市、茨城県北茨城市、高萩市から、また引き続き富山県黒部市、新潟県柏崎市、福井県美浜町から町の現状をご理解いただき、町の復旧・復興と町民の皆さんの生活支援などの課題解決のために職員を派遣していただきました。改めて厚く御礼を申し上げます。

役場の組織については、双葉町の復興を具現化するためには、土地利用計画を総合的に調整する必要があることから、建設課に用地調整係を設置いたしました。全職員に対して「今年は町の復興を具現化する年になる。情報共有や課同士の連携を密にし、復旧復興に全力で取り組んでほしい」と訓示したところであります。

4月6日には仮設校舎で小・中学校の入学式が行われました。小学生7名、中学生7名が緊張した面持ちで新たに入学

されました。入学式には保護者の皆さま、多くの来賓の方々のご出席を賜りました。引き続き、ふたば幼稚園の入園式が仮設園舎で行われ、新しく3歳から5歳までの4名の園児が入園いたしました。本年度は、46名の園児、児童、生徒が学ぶこととなりますが、将来の双葉町の復興を担う子どもたちを町の学校でしっかりと育てるため、少人数教育ならではのきめ細かい特色ある教育を実践し、より成果を上げてまいりたいと考えております。真つ青な空に悠々と泳ぐ鯉のぼりに元氣な子どもたちの姿を重ね合わせ、清々しい気持ちになりました。

休校していた公立双葉准看護学院の仮設校舎が南相馬市原町区に完成し、4月10日に開校式、入学式が行われました。看護師不足が課題となっている双葉郡の医療分野に貢献できる人材の育成が期待されます。双葉町が復興し帰還を果たした際には以前のように双葉の地で再開できるようにとの思いを強くいたしました。

福島第一原子力発電所の事故により出されていた避難指示が、3月31日には浪江町が、4月1日に富岡町が帰還困難区域を除いて解除され、6年ぶりに本庁舎での業務を再開いたしました。双葉郡それぞれの町村の状況は違いますが、当町においても町民の皆さまが帰還できる環境を整えることが、今、行政に課せられた重要な任務と考え、より復興の加速化にまい進してまいりたいと考えております。

双葉町長 伊澤 史朗

文教の町故郷に 思いを寄せて



教育委員会教育長

館下 明夫

この度、4月1日付けで、教育長に就任いたしました、館下明夫です。私は、相馬市玉野地区で、少子化による児童・生徒の減少および東日本大震災の影響で、本年三月末で閉校を余儀なくされた玉野小・中学校を見届けてまいりました。六十八年という永い歴史と伝統に幕を下ろさなければならぬ苦渋の決断ですが、今までの実績や思い出は心に未来永劫残るものと確信し、それを伝え続けるための記録も整理し残してまいりました。過日、双葉町立小・中学校とふたば幼稚園の入学式・入園式が行われ新入生および新入園児の喜びはもちろんですが、双葉南小・双葉北小・双葉中そしてふたば幼稚園が存続できていること、県内はもと

より全国に避難している双葉町民の皆さんの喜びでもあると感じました。さて、この季節になり故郷の情景を思い起こしますと、特に自宅前の図書館、そして前田川沿いの素晴らしい桜並木が思い出されます。避難先でも、何が自分にとって現実なのか自問自答したことも度々ありましたが、まづもって今まで、町民の皆さまに寄り添い双葉町の復旧・復興に尽力されています町長様はじめ、役場全職員の皆さまに感謝と御礼を申し上げます。そして、このような重職を拝命したわけですが、教育行政という面から、双葉町の将来を担う子どもたちの健全育成や双葉町の歴史・伝統・文化に寄与する関係各位の皆さまと共に、知識と知恵をお借りしながら、微力ではありますが、それらの継承と発展に全力で取り組みでまいる所存でございます。「双葉町復興まちづくり計画（第二次）実施計画におきまして、「生きがいづくり」や「次世代の育成」といった施策が新たに追加され、教育委員会の担う役割が大きいと認識しております。今後、さらに児童・生徒はもちろん町民の皆さまの心と心を繋ぎ、絆が深く結べるよう、全力で取り組んでまいりますので、町民の皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。故郷への思いと就任のあいさつとさせていただきます。

双葉町立小・中学校教職員の 人事異動のお知らせ

お世話になりました

＜双葉北小学校から退職・転任された先生方＞ 敬称略

職 名	氏 名	備 考
校 長	渡邊由起子	退職
教 諭	皆川 利道	退職
講 師	安孫子真紀	退職
講 師	三本松夏美	広野町立広野小学校へ転任
栄養技師	小松 一江	退職

＜双葉中学校から退職・転任された先生方＞

職 名	氏 名	備 考
校 長	伏見 康弘	南相馬市立原町第一小学校へ転任
教 諭	櫻田 弘樹	退職
教 諭	松本 涼一	楡葉町立楡葉中学校へ転任
養護教諭	青木 寿江	楡葉町立楡葉北小学校へ転任

平成29年度

双葉町立幼・小・中学校教職員

＜ふたば幼稚園＞

職 名	氏 名	備 考
園 長	菊池 泰高	双葉南小学校兼務
園長補佐	小林 洋子	
教 諭	吉津 望美	
教 諭	小林 達也	

＜双葉南小学校＞

職 名	氏 名	備 考
校 長	菊池 泰高	ふたば幼稚園兼務
教 頭	石井 智明	
教 諭	吉田 智子	
教 諭	関口百合子	
教 諭	佐々木裕太	新採用
講 師	伊達 香織	
養護教諭	猪狩 優子	楡葉北小学校より転入 ※双葉北小・双葉中兼務

＜双葉北小学校＞

職 名	氏 名	備 考
校 長	堀内 弘志	楡葉町立楡葉中学校より転入
教 頭	高田 昌幸	
教 諭	星 千尋	
教 諭	中畑 真	いわき市立四倉小学校より転入
教 諭	高玉梨枝子	
教 諭	日和田貞子	広野町立広野小学校より転入
養護教諭	吉野 裕子	※双葉南小・双葉中兼務
主 事	小沼 綾奈	浪江町立請戸小学校より転入
栄養技師	安瀬 英未	田村市立船引小学校より転入



お世話になります

＜双葉中学校＞

職 名	氏 名	備 考
校 長	目黒 信浩	福島県教育庁相双教育事務所より転入
教 頭	藤川 治洋	
教 諭	畑中 豊	いわき市立江名中学校より転入
教 諭	小泉 尚久	
教 諭	伊藤 要子	いわき市立湯本第三中学校より転入
教 諭	小野美佳子	
教 諭	菅野 陽子	
教 諭	蓬田 信裕	
教 諭	鈴木 美和	
講 師	矢内 優	川内村立川内中学校より転入
主 査	遠藤美保子	

＜1園3校共通＞

職 名	氏 名
英語指導助手	フィリップ・ジェリーマン
英語指導助手	アンソニー・バラード
学習支援員	添田久美子
スクール カウンセラー	比佐 淳一
用務員	菊地 安

新たな気持ちで

町立小・中学校 入学式

春のやわらかな日差しが気持ちよく降り注ぐ4月6日、平成29年度双葉町立小学校・中学校の入学式が仮設校舎体育館で挙行されました。

在校生や来賓の方々、保護者の皆さんの温かい拍手に迎えられ、新入学児童、生徒が担任の先生と共に入学しました。どの子も緊張した表情で入学しましたが、担任の先生から一人ひとり名前を呼ばれると大きな声で元気に返事をしました。

初めに、菊池泰高双葉南小学校長が式辞を行い、新入学児童へ向けて小学校生活を楽しみ過ごすために「元気にあいさつができるようにすること」「自分のことは自分ですること」「誰とでも仲良くすること」の3つを話し、続いて新入学生徒へ「誰に対しても思いやりの心を持って、明るく意欲的な学校生活を送ってください」と話しました。

次に館下明夫教育長が教育委員会告示を述べた後、伊澤史朗町長、佐々木清一町議会議長がそれぞれ祝辞を述べて子どもたちの入学を祝いました。

教科書並びに祝い品授与では、各小、中学校の代表の児童、生徒が校長から教科書や祝い品を受け取りました。

歓迎のことばでは、在校生を代表して北小学校6年の脇坂玲名さんが「困ったことがあったら、先生や私たちに話してください。私たちは、早く皆さんと仲良くなりたいです」と述べ、続いて中学3年の野村遥花さんが「双葉中学校は少ない人数なので、他の学校では学べないことがたくさんあります。自ら学び、積極的に経験しようという気持ちを持って、実りある3年間にしてください」と新入生へ歓迎の気持ちを表しました。

次に、新入生を代表して奥谷郁くんが「新しい制服に身を包むと、これから中学生になるんだと、心地よい緊張にドキドキしています。先輩方の築き上げてきた伝統を守り、新しい歴史を作っていきます」と力強い誓いの言葉述べました。

全校児童・生徒の人数は小学生26人、中学生11人、計37人と、開校時に比べて大幅に増加となり、昨年に増して子どもたちの元気な声や笑顔に溢れ、活気ある学校生活となることが期待されます。

子どもたちの入学を祝うかのように、桜の花もピンクに色づき花開く時を迎えていました。





◆ 教科書並びに祝い品授与



▲ 新入生代表誓いのことば



▲ 歓迎のことば



ふたば幼稚園入園式



◀ 歓迎のことば

小中学校の入学式終了後、ふたば幼稚園さくら組で入園式が行われました。

初めての幼稚園に不安そうな子、ワクワクしている子と様々でしたが、お父さん、お母さんに手を引かれて入場する新入園児を在園児や来賓の方々が笑顔で迎えました。

初めに菊池泰高園長が「明日から幼稚園で歌を歌ったり、お遊戯をしたりして楽しく過ごしましょう」とあいさ



つしたあと、館下教育長、伊澤町長、佐々木議長がお祝いの言葉を述べました。

また、在園児の池下仁智ちゃんと齊藤笑空くんから「明日から一緒に遊びましょうね」と歓迎のことばがありました。

この日入園した園児は4人で、今年度のふたば幼稚園は、年少児、年中児、年長児合わせて9人の園児でスタートします。

◆各種委員のお知らせ◆

- ・町監査委員に石川雄彦さん（下長塚）
いしかわたけひこ
- ・町固定資産評価審査委員に森容昭さん（郡山）が
もりやすあき 選任されました。

町職員の人事異動

平成29年4月1日付けで異動がありました。
（内は旧職名等です。）

◆新規採用職員

塩澤 匠

▽産業課 新永春菜

▽戸籍税務課 井戸川俊

▽復興推進課 土屋美香

▽生活支援課 伊澤 哲

▽建設課 守谷信雄

▽住民生活課

◆福島県派遣職員

▽健康福祉課・主幹兼総括
主任保健師（生活支援課
兼務・郡山支所）角田春子

▽健康福祉課・主任保健師
砂場公子（いわき事務所）

◆市町村派遣職員

▽復興推進課 廣田春二

▽（新潟県柏崎市）

▽秘書広報課 南保真也

▽（富山県黒部市）

▽教育総務課 柴田悠平

▽（福井県敦賀市）

▽教育総務課 吉田千賀男

▽（茨城県北茨城市）

▽健康福祉課 市村理恵

▽（茨城県高萩市）

▽昇格・昇任・異動

◎いわき事務所

▽戸籍税務課長 山本一弥

▽（会計管理者）

▽会計管理者 井戸川陽一

▽（戸籍税務課長）

▽教育総務課長 高橋秀行

▽（教育総務課・課長補佐兼
総務係長兼学校教育係長）

▽戸籍税務課・主幹兼課長
補佐兼管理徴収係長 北崎

周子（生活支援課・主幹
兼埼玉支所長）

▽建設課・主幹兼課長補佐
兼用地調整係長 鈴木健一

▽（生活支援課・主幹兼郡
山支所長）

▽住民生活課・課長補佐
兼生活環境係長 高木幸浩

▽（出納室・課長補佐兼検
査係長）

▽産業課・課長補佐兼商工
労政係長 中野弘紀（産業
課・総括主任主査兼商工

労政係長）

▽出納室・主任主査兼検査
係長 愛沢隆志（住民生活
課・主任主査兼生活環境
係長）

▽教育総務課・主任主査兼
総務係長 加村めぐみ（教
育総務課・主査）

▽復興推進課・主査（建設
課兼務） 増田真司（復興
推進課・主査）

▽産業課・主査 大和田千歳

▽（生活支援課・主査）

▽復興推進課・副主任主査 黒木

アリシヤヨコ（総務課・
副主任主査）

▽健康福祉課・副主任主査 大島

由久（生活支援課・副主任
主査（埼玉支所））

▽健康福祉課・主事 岩城光

隆（戸籍税務課・主事）

▽総務課・主事（福島県後
期高齢者医療広域連合派
遣） 比佐和寛（健康福祉
課・主事）

▽戸籍税務課・主事 村上卓

磨（生活支援課・主事（郡
山支所））

◎郡山支所

▽生活支援課・主幹兼郡山
支所長 細澤界（復興推進
課・課長補佐兼原子力対
策係長兼賠償対策係長）

▽生活支援課・課長補佐
兼生活支援係長 朝田幸伸

▽（生活支援課・総括主任
主査兼生活支援係長）

▽健康福祉課・専門保健師（生
活支援課兼務） 安部恭子（健
康福祉課・専門保健師（い
わき事務所））

◎埼玉支所

▽生活支援課・主幹兼埼玉支
所長 池田秀一（戸籍税務課・
主幹兼課長補佐兼管理徴収
係長）

◆再任用職員

▽総括参事 武内裕美

◆任期付職員

▽健康福祉課中島美鈴

▽建設課中村あき子

▽建設課牧野珠美

▽建設課中澤由貴枝

▽建設課井上裕智

▽建設課植田聡

◆復興庁応援職員

▽健康福祉課谷岡道子

◆退職（3月31日付）

▽小野田真澄（教育総務課長）

▽佐竹ひとみ（戸籍税務課・
課長補佐）

▽関一（産業課・課長補佐兼
農林土木係長）

▽藤田恭啓（健康福祉課・主
任保健師）

▽早川あかね（健康福祉課・
副主任主査）

▽松本奈々（復興推進課・主
事）

◆◆ 6月1日は、人権擁護委員会が施行された日です ◆◆

昭和23年、政令に基づいて人権擁護委員制度が設けられ、翌24年6月1日に人権擁護委員法が施行されました。これにより、地域住民のなかにあって国民の基本的な人権を擁護する機関である人権擁護委員制度が誕生しました。

法務省及び全国人権擁護委員会連合会は、人権擁護委員法が施行日を記念して、6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、毎年6月1日を中心に一層積極的な啓発活動を行い、人権思想の普及高揚を図るため、人権擁護委員が特設人権相談所を開設します。

6月1日（木）は双葉町いわき事務所にて、10時から15時まで特設相談所が開設されます。相談は無料で、秘密は厳守します。困りごとや悩みごとなどお気軽にご相談ください。

また、「人権擁護委員の日」に限らず、電話相談を実施していますので、悩みごとがありましたら下記のダイヤルにお電話ください。

相談は無料で、秘密は厳守します。

みんなの人権110番 ☎0570-003-110
子どもの人権110番 ☎0120-007-110
女性の人権ホットライン ☎0570-070-810

職員紹介



新家 春菜



塩澤 匠

【新規採用職員】



砂場 公子



角田 春子

【福島県派遣職員】



土屋 美香



井戸川 俊



守谷 信雄



伊澤 哲



柴田 悠平
(敦賀市)



南保 真也
(黒部市)

【市町村派遣職員】



市村 理恵
(高萩市)



吉田 千賀男
(北茨城市)

福島さわやか行政相談キャンペーン【5月1日(月)～31日(水)】



松木 秀男さん
(羽鳥・白河市在住)

総務省では、双葉町を担当する行政相談委員として、松木秀男さんを委嘱しています。

行政相談委員は、総務大臣が委嘱するもので、国の仕事を始め、年金事務所などの特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、皆さんと関係行政機関等との間に立って、その解決を促進するよう相談に応じています。

行政相談委員はキャンペーン期間にかかわらず、いつでも相談に応じていますので、下記へご連絡ください。

【連絡先】 松木 秀男 ☎090-5238-9959
福島行政評価事務所 ☎024-534-1101

行政区総会・交流会

下条行政区



平成28年度 下条行政区 総会

3月25日・26日、下条行政区の総会・交流会を勿来温泉「関の湯」で開催したところ、県内外の避難先から27人の方々が参加されました。総会に先立ち、東日本大震災及び各避難先で亡くなられた方々のご冥福を祈り黙とうを捧げました。

初めに、作本信一区長から「今双葉町は、復興まちづくり計画第二次が策定され、町の復興に向け努力されている。中間貯蔵施設、廃炉等の問題があり、町民が帰還できるまでの道のりはかなり険しいと思われるが、町の取り組みを見守っていききたい。また、下条行政区住民だけのコミュニティの場合は総会しかないの、今後も参加してください」とあいさつがありました。続いて、来賓として参加していただいた伊澤史朗町長からは、復興まちづくり計画第二次の概要説明、町内復興拠点を早期に整備すること、もに「町民一人一人の復興」を基本理念として、町の再興、生活再建、町民の絆の結びつきを目標として鋭意に取り組んでいきたいとあいさつがありました。

続いて、鶴沼利一さんが議長に選出され、平成28年度事業報告、会計報告があり、協議事項2案もすべて承認されました。

総会終了後、藤田博司さんの乾杯のあいさつで交流会が始まり、久々の再会に話は尽きず、お互いの近況報告などで盛り上がり、楽しい一夜を過ごしました。

翌朝は、早朝より別れを惜しむかのように語り合い、また来年再会することを誓い帰途につきました。

双葉中学校「昭和47年度卒業生」の皆さんへ 還暦祝会開催のご案内

昭和32年4月2日から昭和33年4月1日に生まれた皆さん！ 還暦祝会及び厄払いの準備が整いました。

事務局では、還暦祝会の詳細案内に際し5月末までに居所情報等を把握する必要があります。現在、避難等で連絡を取ることが困難な状況から、この記事を見られた方、またこの記事を見られる環境にない方につきましては、ご家族から内容をお知らせいただき、下記連絡先までご一報をお願いします。

また、連絡の取れる方同士でお互いに声をかけ合っていただき、一人でも多くの参加をお待ちしています。

◇日時：平成29年8月19日(土)～20日(日)

◇場所：いわき湯本温泉 雨情の宿 新つた
福島県いわき市常磐湯本町吹谷58
☎0246-43-1111

◇会費等：会費及び集合時間は、参加希望者へ別途お知らせします。

【連絡先】昭和47年度双葉中学校卒業生有志

- ・代表幹事 岩本久人 090-9421-9617
- ・幹事 佐藤孝 090-4208-5543
- ・ " 田中美奈子 080-1846-9321
(旧姓：佐々木)
- ・ " 松本信英 090-6256-0679

行政区総会・交流会

長塚一行政区



3月26日・27日、季節はずれの冷たい春雨の降る中「長塚一行政区総会・交流会」がいわき市の海辺のホテルで開催され、県内外から25人の方々が参加しました。

震災・事故6年目。事故の風化が叫ばれ、復興の前進と停滞という二面の現実が混在する中、参加者は一年ぶりの再会に元気をもらいうひと時を過ごすことができました。

木幡智清区長のあいさつで総会が始まり、案件が審議されました。震災前であれば新年会、野焼き、盆踊り、町民体育祭とさまざまな行事がありました。震災後の行政区の事業はこの総会・交流会のみ。さみしい限りの報告がありました。

また、今年もご多忙の中、伊澤史朗町長にお願いいただき、これまでの町政、(仮称)双葉インターチェンジ、駅西、中野地区の復興拠点や中間貯蔵施設などについて最新の情報を説明していただきました。質疑応答では、JR双葉駅周辺の水路整備や除染、産業復興拠点などについての質問がありました。

総会終了後、東京電力福島復興本社双葉町グループから家庭に残されている廃油回収や屋内片づけ作業の手伝いの説明がありました。遠隔地で作業当日立ち合いが困難な高齢者の方などは電話での説明があれば作業可であるとの回答もありました。

その後の交流会は大変盛り上がりしました。開始直前、大相撲春場所での稀勢の里逆転優勝の報で祝勝会も兼ねた会になりました。西内隆夫さん、江尻邦夫さんのスピーチが宴に華を添え、参加した皆さんは久々の再会を喜び合い、時間の許す限り話し込む姿が見られました。

双葉中学校(昭和43年度)卒業生の皆さまへ (昭和28年4月2日～昭和29年4月1日生まれ)

同窓会開催のお知らせ

日時 平成29年6月17日(土)～18日(日)
午後5時～
(同窓会のみ参加、宿泊される方は午後3時より入場できますので、同窓会開始までお風呂を楽しんでください)

場所 太平洋健康センター勿来温泉「関の湯」
いわき市勿来町関田須賀1-4
☎ 0246-65-1126

会費 12,000円(宿泊される方)
7,210円(同窓会のみ参加される方)

申し込み 5月31日(水)までに下記連絡先へ申し込み願います。準備の都合上、早めの連絡をお願いします。

その他 電車で来られる方は、午後3時に勿来駅からの送迎があります。

【連絡先】 作本 信一 ☎ 090-7062-4083

平成29年度 町税の免除・減免等に関するお知らせ

双葉町では、東日本大震災及び原子力災害の被害を受けた納税義務者等の納付すべき平成29年度の各税目について、次のとおり免除・減免いたします。

免除・減免について

○対象税目…町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税

○免除・減免の内容

個人住民税

内 容	減免の割合
平成28年中の合計所得金額	500万円以下
	10分の10
	500万円超 750万円以下
	2分の1
	750万円超 1,000万円以下
	4分の1
	1,000万円超
	10分の1
居住住宅の損壊の程度	全壊または大規模半壊
	10分の10
	半壊
	10分の5

※上記のうち、2つ以上に該当する場合は、減免割合の大きいものを適用します。

法人町民税

東日本大震災及び原子力災害により休業等となった法人について、休業届の提出があった法人（平成29年1月から平成29年12月までに決算期を迎える法人に限る）……均等割相当額の全額減免

固定資産税

- 土地・家屋に係るもの（町長が指定する区域にあるもの）……全額免除
- 償却資産に係るもの（町長が指定する区域にあるもの）……全額減免

軽自動車税

- 平成29年4月1日現在で、避難指示区域に放置された原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車、2輪の小型自動車……全額減免

国民健康保険税

被保険者全世帯……全額減免

※ご不明な点、ご相談については、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

戸籍税務課 ☎ 0246-84-5204

平成29年度 軽自動車納税通知書について

平成29年度の軽自動車納税通知書を発送いたしましたので、お手元に届きましたら車両番号などの内容をご確認ください。

現金により納付される方は、コンビニエンスストアで納付できます。なお、納期限は5月31日（水）です。

【減免について】

※平成29年4月1日現在、避難指示区域内に放置された車両については、減免の対象となりますので、該当する方には、「軽自動車減免申請書」を送付いたしますので、いわき事務所戸籍税務課までお問い合わせください。

※減免となった車両については、事務処理後に納税証明書を送付いたします。車検期間が間近になっている場合は、お早目にご連絡ください。

※平成23年3月12日以降に登録された車両を除く原付二輪・農耕用車両などの「双葉町」ナンバー及び250CC以下のバイクについては、すでに減免として取り扱っております。

平成29年度 自動車の定期課税のお知らせ

**納期限は
5月31日
（水）です**

自動車税は、毎年4月1日午前零時現在で車検証上の所有者（割賦販売の場合は使用者）に課税されます。

平成29年度自動車税の納税通知書は、5月8日（月）に発送する予定ですので、5月31日（水）の納期限までに忘れずに納付してください。

なお、避難先等への郵便物の転送を希望される方は、最寄りの郵便局へ「転居届」の提出をお願いします。

【問い合わせ先】 相双地方振興局 県税部課税課 課税第二チーム ☎ 0244-26-1127

平成29年度

双葉町中学生海外派遣事業参加者募集!

双葉町では今年度も、次代を担う中学生を海外に派遣し、外国の自然、文化及び社会に触れるなどの直接体験を通して、国際理解及び国際感覚の基礎を培い、コミュニケーション能力を身に付けることを目的に、ニュージーランドへの海外派遣事業を実施します。

※なお、派遣先の情勢の動向（テロ、天変地異、流行病等）により、中止となる場合があります。また、次年度以降の実施については未定です。

◆派遣日程

日本の夏休み期間
（8月4日～8月11日を予定）の8日間

◆派遣予定人数

中学生20人以内
※希望者が5人以下の場合は中止とします

◆応募資格要件（次の全ての項目を満たしていること）

- ・平成23年3月11日現在双葉町に住民登録があった者で、応募時点において中学校に在籍している者あるいは、応募時点で双葉町立中学校に在籍している者
- ・心身共に健康で協調性に富み、計画に従って規律ある行動ができる者
- ・本人が積極的に海外派遣を希望し、保護者の同意が得られる者
- ・派遣のための事前研修会等（双葉町いわき事務所で実施）に参加できる者
- ・帰国後、派遣体験を積極的に生かそうとする者
- ・6月17日（土）に開催する事前説明会に保護者同伴で参加できる者

※過去の双葉町中学生海外派遣事業に参加したことがある生徒は参加できません。

◆参加負担金 50,000円

◆申し込み書類

- ・申込書（様式Ⅰ） ・学校長の推薦書（様式Ⅱ：開封厳禁とします）
- ・保護者の承諾書（様式Ⅲ） ・誓約書（様式Ⅳ） ・希望者本人の住民票
- ・作文：テーマは「ニュージーランド研修を今後の自分の人生にどう生かすか」（A4判400字詰め横書き原稿用紙で2枚以上）とします。

※電話で希望を受けた後、個別に送付します。

◆派遣者の選考

- ・応募締め切り後に書類審査（5月下旬予定）を行い、派遣内定者には通知を送付します。

◆募集期間

平成29年5月19日（金）までの消印有効

※希望者には応募書類を送付しますので、ご連絡ください。

【問い合わせ先】 教育委員会 教育総務課 ☎ 0246-84-5210

平成29年度 双葉町幼稚園就園奨励費および給食費等補助制度について

双葉町では、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により被災した保護者の皆さまの経済的負担軽減のため、お子さんを幼稚園等に就園させている保護者の方に対して、入園料と保育料および給食費と教材費の一部について補助を行います。

【補助の対象となる方】

次の要件をすべて満たしている方

- 1：公立幼稚園、私立幼稚園、幼稚園型認定こども園（ただし、1号認定のみ対象）に通園している園児の保護者
- 2：1の園児及び保護者は、平成29年4月1日現在双葉町に住民登録をしていること

※6月初旬に3～5歳児のお子様がいる全家庭に案内を送付いたしますので、詳しくはそちらでご確認ください。

※満3歳児保育も対象となりますが、誕生日の月からが補助対象となります。お手数でも下記問い合わせ先までご連絡のうえ、資料の請求をお願いいたします。

【問い合わせ先】 双葉町教育委員会 教育総務課 ☎0246-84-5210

応急仮設住宅・借上げ住宅の適正な使用について

応急仮設住宅（借上げ住宅などを含む）は、災害救助法に基づいて一時的に居住の安定を図ることを目的としています。避難による居住以外の用途での使用は認められませんので、法律の趣旨についてご理解いただくとともに、適正な使用をお願いします。

また、住宅の購入や新築、復興公営住宅への入居など、住宅を確保された方は供与終了となります。速やかに「仮設住宅等使用終了届」を提出してください。

なお、下記のような目的外の使用については、契約の解除や損害賠償請求を行う場合があることを申し添えておきます。

【適正と認められない使用例】

- ・居住できる住宅を確保した以降の使用
- ・複数の応急仮設住宅等の供与を受けること
- ・申請者以外へ転貸すること
- ・その他、居住以外の使用（倉庫・商業用など）
- ・週末や休暇期間中のみの使用

※応急仮設住宅や借上げ住宅から復興公営住宅に入居される方は、退去の手続き後に入居してください。

※福島県外において、借上げ住宅等に居住されている方も同様の取り扱いになりますので、ご注意ください。

双葉町復興ポータルサイトを開設しました

<http://www.futaba-fukkou.jp>

当サイトでは、町内の復興・復旧状況とその取り組みをご紹介します。
今後も逐次更新予定ですので、ぜひご覧いただき、ご意見をお寄せください。

【問い合わせ先】 復興推進課 復興推進係 ☎0246-84-5203



携帯電話や
スマート
フォン等
からはこちら

双葉ふれあいクラブからのお知らせ 第4回双葉町民交流パークゴルフ大会



○日 時… 6月3日(土) ※小雨決行
受付開始時間：午前8時30分
開会式：午前9時
競技開始：午前9時30分
閉会式：午後1時30分
○場 所… いわき市鮫川河川敷公園コース
(植田公民館裏側)

○申込締切… 5月26日(金)
○参 加 費… 無料
○対 象 者… 小学3年生以上の方
○定 員… 100人程度
○競技方法… 24ホール ストロークプレー
○表 彰… 男女別1～3位、ホールインワン賞、
ブービー賞、最高年齢賞、最少年齢賞

○その他… ・閉会式前に昼食の時間をとりますので、お弁当(500円)の斡旋も行います。希望される方は参加申し込み時にご注文ください。代金は当日受付でお支払ください。
・保険については、参加者全員にふれあいクラブで加入しているイベント共済を適用しますが、それ以上の補償はありませんので、あらかじめご了承ください。

子どもから高齢者の方まで楽しめるスポーツです。道具をお持ちでない方にはふれあいクラブで準備しておりますので、初心者の方もお気軽にご参加ください。

【申し込み・問い合わせ先】

NPO法人双葉ふれあいクラブ

☎ 0246-38-3325

FAX 0248-21-6188

双葉町地域密着型介護施設 「グループホームふたば」が 開所しました

4月5日、株式会社エコが郡山市に整備していた双葉町地域密着型介護施設が完成し、開所式が行われました。

式に出席した伊澤史朗町長は「入居者に寄り添った介護サービスを提供し、ご家族の負担を軽減することで、長期化する避難生活を支援する役割をグループホームふたばに期待しております」と祝辞を述べ、続いて佐々木清一町議会議長があいさつしました。

この施設は双葉町民や双葉郡の方々が優先的に入所することが可能で、少人数の中で「なじみの関係」を作り上げることによって穏やかに生活することができるようになっています。

施設内の入所者居室や共同スペースは日差しが入りとても明るく、自分の家のような安心できる雰囲気となっています。



JAスマイル大正琴 ボランティア活動



のではなく利用者の皆さんが一緒に楽しめる様々な工夫がされており、演奏している皆さんにも聞いている皆さんにも笑顔が溢れる演奏会となりました。

3月3日、JAスマイル大正琴の皆さんがいわき市にある福祉施設「ツクイいわき錦町」においてボランティア活動を行いました。
当日は、約25人の利用者の方々が演奏を楽しみにスマイル大正琴の皆さんを迎えてくれ、初めて見る方も多い大正琴に興味を持たれていました。
桃の節句ということで「ひなまつり」の曲や「恋の季節」「富士山」など、利用者の方々がよく知っている曲を演奏すると、一緒に歌ったり、手拍子をしたりとても楽しそうに聞き入る姿が見られました。また、ただ演奏する

YoY (ワイワイ) 交流会 in 群馬前橋を開催しました

3月14日、群馬県前橋市において2回目のYoY交流会を開催しました。今回のテーマは「日本一高い群馬県庁に集合」「群馬県のソウルフードを食べながらの歓談」という二つに設定し、群馬県庁31階にある日本料理「久松」での開催が決定しました。

群馬県在住よりも他県からの参加者が多く、遠くはいわき市から参加した方もおり、全員で14人となりました。事前調査でとてもおいしく、価格もリーズナブルな「上州牛のすき鍋と銀ひかり刺身膳」を皆さんで注文し交流会が始まりました。少人数だったこともあり、皆さんすぐに打ち解けあい、地元色が入ったトークが繰り広げられ「元気だったか」「どこに住んでるんだ」などとワイワイといった雰囲気となり、昼食よりも時間を忘れて話に没頭していました。

また、交流会の前には32階にある展望デッキから関東平野や頂上付近に雪が積もった赤城山等の山々を眺め、さらには約100キロ先の「東京スカイツリー」もぼんやりとですが見ることができました。

素晴らしい景色とおいしい料理に参加した皆さんは、充実した時間を過ごすことができたようで、あっという間に2時間が過ぎてしまいました。

次回の開催は6月頃にYoY交流会in群馬(場所は未定)を予定しています。群馬県在住の方に限定していないため、どなたでも参加可能ですので、ふるって参加してください。

代表 千吉良 高志



4月8日、いわき・まごころ双葉会の通常総会がいわき市好間公民館において開催されました。

初めに、岡田常雄会長が「日々の生活を取り戻し、双葉の根性で会員の皆さん同士絆を深めてもらいたい」と述べ、続いて、来賓として出席していただいた金田勇副町長と岩本久人町議会副議長からあいさつをいただきました。

その後、平成28年度事業報告・会計報告が行われ、満場一致で承認、また、平成29年度事業計画・予算案も決定されました。

さらに、今回の総会で岡田会長が退任し、新会長に木幡智清さんが選任されたほか、新たな役員が決まりました。

新役員の皆さん



平成29年度は木幡会長のもと「絆・継続・前進」をモットーに様々な活動をしていく予定です。

総会終了後には、アトラクションを計画し、今回は好間高校の音楽部とフラダンス部に出演していただきました。音楽部は「花」「オーシャンゼリーゼ」などノリの良い曲やしつとりと聞ける曲を演奏され、フラダンス部には「ふるさと」や中島みゆきの「糸」などと、皆さんが知っている曲に合わせ踊っていたいただきました。

最後には、二つの部がコーラボレーションし、華麗なる歌声と躍動感溢れる踊りを見せていただき、癒しと明日への活力を与えていただきました。

いわき・まごころ双葉会

通常総会開催



5月例会 日帰りバスツアー

- ◆開催日：5月31日(水)
- ◆行き先：栃木県那須高原方面
- ◆主な内容：・那須 Gondola で空中散歩(ゴヨウツツジ群生地)
・60種類食べ放題 豪華バイキング など

多数の参加をお待ちしています！(5月上旬に参加募集を行います)

中間貯蔵施設に係る 弁護士相談窓口のご案内

- ◇ 対 象 者 双葉町内の中間貯蔵施設建設予定地内の地権者の方
- ◇ 相 談 料 無料 ◇ 相 談 時 間 1回につき30分以内
- ◇ 申 込 方 法 事前申し込みになりますので下記までご連絡をお願いいたします。
- ◇ 相 談 事 項 中間貯蔵施設に伴う契約、地上権、相続等について
(相談窓口の弁護士は、直接価格交渉に関わることはできません)

◇ 開催場所及び開催日時

実施場所	開催日	開催時間
双葉町郡山支所	平成29年5月11日(木)	午後2時～午後5時
双葉町いわき事務所	平成29年5月18日(木)	午後2時～午後5時
双葉町郡山支所	平成29年5月25日(木)	午後2時～午後5時

【申し込み・問い合わせ先】

建設課 復旧復興係 ☎ 0246-84-5209

受付時間 午前8時30分～午後5時15分(平日)

環境省 福島環境再生事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇ 輸送について(4月20日現在)

双葉町内中間貯蔵施設保管場の輸送の状況は下記のとおりです。

〔平成29年度の輸送〕

双葉町(4月1日開始)・本宮市(4月3日開始)・桑折町(4月3日開始)
二本松市(4月4日開始)・浪江町(4月6日開始)

〔平成28年度の輸送〕

平成28年度に双葉工区の保管場へは、県内15市町村から85,294袋(うち学校等からは24,986袋)を輸送しました。

▶ ゴールデンウィーク期間中(4月29日～5月7日)は輸送を休止する予定です。

◇ 環境安全委員会について

3月21日に福島県、双葉町及び大熊町等の委員からなる中間貯蔵施設環境安全委員会(第7回)が開催され、工事や試験輸送の状況等について報告しました。引き続き安全確保に努めて中間貯蔵施設事業に取り組んでまいります。

◇ 保管場及び陳場下交差点の放射線監視

- ▶ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。
- ▶ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)のHPで公表しております。(URL) <http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【中間貯蔵施設整備予定地の地権者の皆さまへ】

福島環境再生事務所では、地権者の皆様からの用地補償等に関するお問い合わせや相談に対応するための相談窓口を設置していますが、会津相談室は、事務所の統合に伴い3月をもって閉鎖しましたので、今後は、福島相談室(電話:0120-008-138)、郡山相談室(電話:0120-226-702)、いわき相談室(電話:0120-808-870)にご相談いただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】福島環境再生事務所 中間貯蔵施設等整備事務所 調査設計課 ☎ 024-563-1293

「メタボリックシンドローム」とは？

～ 肥満から始まる生活習慣病 ～

メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪がたぐさんつき、脂質異常、高血圧、高血糖のうち2つ以上がみられる状態です。一つ一つの症状が軽度でも動脈硬化が進み、心臓病や脳卒中など命にかかわる病気を引き起こします。

最近体重が増えてきたな、検査結果が気になるなという方は、食事や運動などの生活習慣を改善し、メタボリックシンドロームを予防しましょう。

< 食 事 >

食べ過ぎは内臓脂肪が蓄積される原因の一つです。毎日の食生活を見直してみましょう。

- 一日3食規則正しく、バランスよく食べましょう。
朝食も欠かさず、いろんな種類をバランスよく食べましょう。
- よく噛んで食べましょう。
よく噛み、ゆっくり食べることで食べ過ぎるのを防いでくれます。
- 寝る前2時間は食べない。
寝る前に食べると、動く量が少ないので脂肪として体に蓄えやすくなります。
- 食事を楽しみましょう。
ながら食べは、食べた量が分かりずらくなります。食事を楽しみ、味わって食べましょう。
- 腹八分目までにしましょう。
満腹まで食べるのはやめ、野菜をたくさん食べましょう。
- 味付けは薄く
味が濃いと食べ過ぎたり、塩分を取りすぎたりしてしまいます。薄味にしましょう。



< 運 動 >

内臓脂肪は、消費エネルギーより摂取エネルギーが多いことでたまります。普段から動くようにして、消費エネルギー量を増やしましょう。

- 日常生活でこまめに動きましょう
今より10分多く体を動かすことで健康寿命を延ばすことができます。
電車やバスでは立つ、バス停一つ分歩く、階段を使う、テレビを見ながら体操する、歯を磨きながらつま先立ちをするなど。いつもの動きに合わせて動作を一つ増やしましょう。
- ウォーキングで脂肪を燃やしましょう
ウォーキングは体にかかる負担が少なく、手軽に始められるのでおすすめです。20分以上続けることで体の脂肪燃焼効果もあります。



< 禁 煙 >

喫煙は血管を収縮させて動脈硬化を早めます。禁煙は多くの病気の予防につながります。

①禁煙しましょう

- ・禁煙を周囲に宣言する。
- ・タバコ、ライターなどを捨てる。
- ・吸いたくなったら、水やお茶を飲む。
- ・禁煙のメリットを思い浮かべる。
- ・一人で取り組むのが難しいときは主治医に相談し禁煙外来を受診する。

②禁煙のメリット

- ・体力が戻る。
- ・肌がきれいになる。
- ・朝すっきりおきられる。
- ・血圧などの検査結果が良くなる。

< 飲 酒 >

お酒は上手に付き合って、適量を守りましょう。

- 適量は日本酒 1 合かビール中ビン 1 本、または焼酎 80 ml 位です。
- 食べながら飲みましょう。
- 週に2日は休肝日をつくりましょう。
- 水分を取りながら、自分のペースでゆっくり飲みましょう。

◆ ◆ 健診のお知らせ ◆ ◆

町では生活習慣病予防のため、健診にて腹囲測定や血液検査を行っています。ぜひ年に1回は健診を受けて、ご自分の健康状態を確認してみましょう。

詳しくは広報紙等にてご案内します。

東京ふれあい双葉会 バーベキュー交流会のお知らせ

日 時：6月4日（日）
 場 所：国営昭和記念公園内 バーベキューガーデン
 （東京都立川市緑町3173）
 時 間：11時30分～15時30分
 集 合：西立川口（JR中央線・西立川駅前）
 11時集合
 ※集合後、園内に入ります
 費 用：4,000円
 申込期限：5月20日（土）

参加をお待ち
しています！



【申し込み・問い合わせ先】

- 谷 尚之（三字）：090-7072-0959
- 和泉英二（三字）：090-8921-3907
- 佐藤孝一（山田）：080-5571-3694

双葉町社会福祉協議会

～ 5月健康運動教室、社協サロンのお知らせ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。お気軽にご参加ください。

会 場	問合せ・申込先	開催月日	時 間
健康運動教室 （内容：健康講話、相談、運動機能の維持・向上等）			
福島市北幹線第二応急仮設住宅集会所 （福島市飯坂町平野内小原田8-1）	☎080-6033-1196（小林）	毎週 木曜日 （祝日除く）	13:30～15:00
白河市郭内第一応急仮設住宅談話室 （白河市郭内151-41）	☎080-6290-5930（小泉）	毎週 火曜日 （祝日除く）	10:00～11:30
南東北総合卸センター2階第6会議室 （郡山市喜久田町卸1丁目1-1）	☎024-973-5291（開発）	毎週 水曜日 （祝日除く）	13:30～15:00

社協サロン（内容：健康講話、相談、趣味、生きがいづくり交流等）

※社協サロンでは昼食を準備致しますので事前に申込みをお願いします。

サンライフ福島 （福島市北矢野目字檀ノ腰6-16）	☎024-973-5291（開発）	5月26日（金）	10:00～13:00
鹿島交流センター2階 （南相馬市鹿島区横手字川原186-1）	☎0246-38-7105（渡辺）	5月23日（火）	10:30～14:30
いわき勿来市民会館 （いわき市錦町上川田21）	☎0246-38-7105（渡辺）	5月30日（火）	10:30～14:30

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 郡山事務所 ☎024-973-5291【担当：開発】

消防署からののお知らせ

～ 春の行楽シーズンにおける防災対策～

バーベキュー時の注意点

- ・水を用意しておく
- ・必ず消火する
- ・食中毒に
注意する



山登りの注意点

- ・行き先を伝える
- ・ライトを携行する
- ・落石や滑落到
注意する
- ・火は使用
しない



運転時の注意点

- ・疲れる前にまず休憩
- ・時間に余裕を持ち安全運転
- ・タバコのポイ
捨てはしない





双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

福島県立双葉中学校第22回

双葉高等学校第1回 卒業生クラス会に参加して

私たち卒業生のクラス会が毎年2回東京都で開催されています。卒業生73名、平成29年4月現在会員（生存者）40名です。今回は福島県から2名の参加者で計10名でした。

参加者の方々を紹介します。写真上段右側から、元東京都高等学校学校長会長で東北大卒の馬場信房君、材木店経営会社社長の石田好君（長塚一）、元前橋営林局署長の伊藤邦雄君（新山）、元医科工業会社経営の鈴木史朗君、元成蹊大学教授で一橋大卒の上野格君（新山）、元平和総合銀行の幹部で中央大法科卒の高崎行雄君、下段右側から元学校長・教育長の福島大学芸学部理科専攻卒の鎌田益實、元日本児童手当協会幹部現ボランティア活動として外国人に日本語を教える会の明治学院経済学部卒の猪狩鐵丸君、東大卒で現幼稚園経営の安部富士男君、元読売新聞社取締役・現会社経営で中央大法科卒の大森敬允君（渋川）以上10名の参加者でした。

話題として双葉高校の休校については、前回話し合いがなされましたが帰還困難区域で本年の3月で休校となり残念の至りです。今回は自己紹介後、個人同士で今後の日本社会・経済情勢・故郷の未来等について話し合いがなされ、各自それぞれの業界・教育界の体験者であり知識的にも私以外プロの方々です。紙面の関係上で全部書けませんが、まとめてみますと（1）「人口減少」「超高齢社会」という急激な変化に直面する中、最悪のシナリオにならないために私たちは年金の問題等々で今何を考えて行動すべきなのか、（2）現社会情勢の中で働く方々の資質の向上と経営の合理化、それについての経営学の研究に投資すべき（3）核分裂で生じた核の処理が全世界の科学的知識技能が伴わず処理できない事実、福島第一原発事故処理の問題等々大変勉強になりました。福島県組の石田好君と私は双葉町の現状を報告しました。東電の今後の見通しについても放射能専門の方もおり大変厳しい見方をしておりました。参加者の方々は何らかの趣味・運動（テニス・ゴルフ・卓球・吹矢）等をなされており、それらが長生きの秘訣なのかも知れません。楽しいクラス会でした。

最後に、双葉高等学校校歌（二番）とその解説を加えました。解説は、本校21代校長の大原良夫校長が記したものです。



2 踏むべき土のあるところ
よりて雲井もよじうべし
一葉二葉のちさきより
昼なお暗き森ならん

鎌田 益實（三字）

（解説）

足掛りとする一塊の土があれば、それを頼りとして、自らの努力で、大空へよじ上ることもできる。（この学校で学んだものを土台とすれば、自らの努力によっては、いかなる雄飛も可能なことである）

昼なお暗いまでにうっそうと茂る大森林も、思えば一葉、二葉の若木の成長の結果である。（いかに卓越した人も、考えれば、それは若い時からの研さんの賜である）

震災から6年以上が経過しました。あの日、地震や津波で亡くなられた方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、全ての避難者の方々には「暖かい春風」が「優しくそよぎ」ますように祈願しております。

さて、現在はテレビやパソコンなどで色々なジャンルの音楽を楽しむことができ、日々音楽の持つ大きな力に支えられての生活には、感謝の念でいっぱいでございます。

私が初めて器楽合奏を拝聴いたしましたのは、昭和二十三年の秋「勤労感謝の日」で「相農創立四十五周年記念日」で

【随想】吹けよ「春風」

・弥生風 香り誘う 梅の園
・観梅会 甘酒熱く そぞろ寒む
・梅ヶ枝に 無宿雀か 群りて
・春早朝 下弦残月 影淡し
・七度目の 避難旅路の 春彼岸
・桜切り^(剪定) 梅を切らぬは 四月馬鹿
妻逝きて 二十余年の 墓碑の文字
吾卒寿越し 白寿待つ日々

武内 恒雄(長塚二)

した。当時相馬農業高校二年生で、グループで校庭のテニスコートに仮設の舞台作り汗を流したのでした。その仮設の「野外ステージ」で、中村町(現相馬市)の軽音楽団の演奏がありました。それが器楽合奏を聴いた初めての体験でした。午後は当時の人気歌手「灰田勝彦」氏の独唱があり、歌の合間には浪江町出身の作曲家「佐々木俊一」氏を舞台の上で私の先生ですと紹介され、佐々木俊一作曲の「新雪」「煌めく星座」や彼の出世作「涙の渡り鳥」等の披露がありました。

続いて、灰田勝彦さんの兄、灰田晴彦さんのマンドリンバンドで「ハワイアン」の演奏もありました。このコンサートが「音楽愛好者」への扉を開いてくれたものと感謝しております。

戦後七十年以上が経過し、平和な生活の有難さを実感しつつ、当時、ラジオから流れていた童話や小学唱歌・「ラジオ歌謡」等を聞く度に、小学校の教室の窓・オルガン・先生や同級生の面影など、遠い、遠い昔の日が甦るのです。これからも末永く歌を愛する老人として頑張つてまいります。

時まさに「春」真つ盛り、「花」を動画で聴きながら今宵も更けていくのです。

平成二十九年四月一日

小室 仁(浜野)

人のうごき3月分

敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
山下穂乃佳 ^{やました ほの か}	3月 2日	明弘・香織	山 田
松田達生 ^{まつだ あおい}	3月 13日	貢紀・奈美	長塚一
高山帆花 ^{たかやま ほのか}	3月 23日	勇氣・ひかり	新 山
森山はな ^{もりやま}	3月 25日	和久・千佳	新 山

お悔み申し上げます

氏名	年 齢	死亡日	行政区
鵜沼 一夫	68	2月 23日	細 谷
堀井 五郎	69	2月 23日	鴻 草
山本 聖人	51	3月 4日	長塚一
佐藤 信夫	88	3月 7日	両 竹
三原 静男	62	3月 12日	長塚一
新野 順子	92	3月 16日	新 山
鈴木 四郎	88	3月 27日	長塚一

双葉町民の避難状況

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

- ・福島県内に避難されている方 4,079人
- ・福島県外に避難されている方 2,877人

※平成 23 年 3 月 11 日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎ 0246-84-5202

記録として次の世代へ
ふるさと

絆通信

第48号



ずっと、ふるさと。双葉町。



双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先のない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日どのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載しています。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



「ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどんなでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

掲載する文章は、株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課

☎ 0246-84-5202

いいづか ひろみ
飯塚 洋美 さん

(羽鳥)



●避難先●
東京都東大和市



故郷の風景に思い出すこと

一時立入りで大熊方面から国道6号を町内に入ると、町役場庁舎や双葉厚生病院が目に入ります。町職員を経て助役となり平成19年に亡くなった父のことや、母がよく通院していたことなどが思い出されます。ここ数年、墓参りを兼ね自宅に立ち寄りますが、荒れていく様子を眺めるだけになってしまいました。

大地震で「地割れに追いかけられた」

母が若い頃、幼稚園に勤務した経験を聞いていたこともあり、私も幼稚園教諭免許と保育士の資格を取得し、町立幼稚園に用務員として勤務していました。

震災当日、園内の清掃等を行っていたとき大地震が発生したため、預かり保育室で昼寝中だった園児を全職員で起こし、屋外に誘導しました。長く続く大きな揺れで連発した地割れに追いかけられるような状態でしたが、園児への安全を最優先に行動しました。特に、被害の様子が園児たちにとってトラウマに繋がらないよう、可能な限り配慮したつもりです。

「心の限界」と「長男の姿」

避難指示により、川俣町の旧小島小学校に身を寄せ町職員の一人として避難所運営等に加わりました。緊急事態とはいえ、寒さと食糧不足、そして深刻さを増す原発事

故の状態に、心が限界のような状態になっていると感じていました。

避難数日後、東京在住の長男が、避難所の皆さんに少しでも役立てればと、東京で食料や生活物資を買い込み、避難所に姿を見せました。当初、幻かと思いましたが、うれしさを感じたと同時に、緊張の糸が切れてしまったようで、大変な状態が続く中、申し訳ないと思いつつ、皆さんに頭を下げながら避難所を後にして東京都内に向かいました。

人に恵まれ仕事が生きがいになった

東京では、長男のアパートを経て立川市内の都営住宅に入居しました。避難まで浪江高校に通っていた三男を都立高校に編入させるなど、生活環境の手配に目処を付けた後、立川市内の保育園で働き、東大和市内への転居を機に、平成26年春から、社会福祉法人立野みどり福祉会玉川上水保育園に勤務しています。また、昨年春、次男も入職し、調理師として給食業務にあたっています。こちらでも、園長先生をはじめ先生方にも良くしていただき、親子共々、仕事を生きがいに感じられる日々を送っています。

現在、子どもたちも独立し、夫婦2人の生活ですが、来春には三男が結婚する予定です。避難で予期せぬ東京暮らしとなりましたが、周囲の人々に恵まれたと感謝しています。



先月、飯野八幡宮で「クリスタルボウル」(写真中央下)を使った「奉納演奏」をさせていただきました。

てじま としえ
手島 敏江 さん

(三字)



●避難先●

福島県いわき市

心配だった勤務先

夜勤明けで帰宅し、自宅で休んでいたところ、大地震に襲われました。危険を感じたため外に出て、近所の方々とともに近隣の農地に移動しましたが寒さに耐えられず自宅に戻りました。しかし、大きな余震のたびにその農地に向かい、再び自宅に戻ることを繰り返していました。

私は、特別養護老人ホーム「サンライト大熊」に勤務していました。そのため、施設の状況や入所しているお年寄りの安否が心配で、勤務先に何度も電話を入れましたが繋がりませんでした。そのため、勤務先に向かいましたが、道路の損壊により引き返すことを余儀なくされました。

後で分かった大津波と父や弟の安否

同居していた父と弟は、家畜飼料を輸送する仕事に就いており、震災当日、宮城県山元町内で仕事にあたっていました。同町をはじめ、沿岸部は大津波により被害を受けましたが、自宅は海から遠かったため、津波については人づてに聞いた程度で、規模や被害の程度まで分かりませんでした。

しかし、被災翌朝、避難指示で母とともに町を離れてから向かった田村市内の避難所にあるテレビで、広範囲で大規模な津波被害を知り、父や弟の安否が心配になりましたが、親類を介して無事を確認できました。

た。また、父らは、震災後、飼料流通の支援活動にあたっていると聞き、安堵したと同時に、そうした知らせに元気をもらったような気持ちになりました。

勤務先への合流と仕事の再会

避難から数日後、勤務先と連絡がつき、田村市内にある大熊町の避難所に向かい、混乱の中、昼夜を問わず仕事にあたりました。また、早い段階から、施設長らが入所者の受入先の確保にあたり、同町の二次避難までに移送が完了し、私は入所者数名とともに田村市内の介護施設に移り、その後、サンライト大熊を退職し、その施設の職員となりました。

「様々な出会い」と「心の復興」

新たな勤務先で出会いに恵まれ結婚し、長女を授かりました。それを機に退職して、現在、南台応急仮設住宅で生活しています。避難後、心身とも困難な状態に直面した一方「ヒーリングセラピー」との出会いに救われました。このセラピーには様々なアプローチがあり、老若男女問わず対象になり得ますが、特に、カラーカウンセリングやクリスタルボウルの演奏を通して、女性や子どもを心から癒し健康に導くことに関心を持っています。

今後、こうした活動を通して、一人でも多くの方にとって「心の復興」に繋がればと思っています。

いざわ さとる
伊澤 哲 さん
(三字)



●避難先●
福島県いわき市



「生まれた時代の記憶」と「故郷の記憶」

私が生まれたのは昭和63年ですが、その翌年、元号が「平成」に変わったため、昭和64年生まれ同様、生まれた時代（昭和）の記憶が無い世代です。

原発事故に伴う町外避難が始まって6年以上経過しましたが、私自身、昭和の時代の記憶が無いように、被災直前や避難後に生まれた当町の子どもたちは、「故郷の記憶が無い」状態になっているのかと思うと、残念でなりません。

地元志向が強かった

双葉南小学校、双葉中学校、双葉高校と高校卒業まで双葉町で過ごし、茨城大学人文学部（現・人文社会科学部）に進学しました。当時はまだ「失われた20年」と呼ばれ、バブル経済崩壊以降の経済低迷の時代が続き、「就職氷河期」で就職難が当たり前でした。大学3年の後半、就職活動が始まると、同期生の多くは、就職セミナーや面接のため東京通いをするようになりました。

私は地元に戻っての就職を希望していましたが、相双地区に就職先は少なく、就職試験も事実上選択肢が無い中「二発勝負」のような状態で、自信はありませんでしたが、故郷を思う気持ちは人並み以上という自負を携え試験に臨み、平成22年春、あくま信用金庫に入庫しました。

震災と原発事故の経験

新人研修を経て浪江支店に配属されましたが、入職後1年を目前に震災と原発事故に遭いました。避難指示により、一家で福島市内に避難しましたが、平成23年3月下旬から本部（南相馬市）で勤務を再開しました。通常とは全く違う業務に戸惑ったことも多々ありましたが、今では、貴重な経験と思っています。

震災直後の対応に一定の区切りがついた後、相馬支店、本部、亘理支店に勤務しましたが、私を育ててくれた双葉町の復興に加わりたいという思いが日々強まり、昨年、町職員採用試験を受け合格し、この3月に金庫を退職しました。

「新人職員」として再スタート

4月3日、町職員として採用されました。間もなく30歳になりますが新人で、先輩職員には同級生が数名います。

採用後、建設課に配属されました。入職間もないため、役場の仕事について教わることからスタートになりますが、研修後は、中野地区における当町の復興拠点整備事業に携わる予定です。そして将来、「故郷の記憶が無い子どもたち」が、あらたに故郷での一歩を踏み出せるような町にできるよう、微力ながら、故郷復興の一助になればと思います。

ぼくの夢・わたしの夢



(左が七海さん)

新潟県柏崎市立田尻小学校 6年 ^{たかはし}高橋 ^{ななみ}七海さん(長塚二)

私の将来の夢は、ネイリストです。

もともとマニキュアが好きでマニキュアを使った仕事がしたいと思っていました。そんな時に、マニキュアをたくさん持っているお店の人がいて、どんな人なのかお母さんに聞いたら「あの人はネイリストなんだよ」と教えてくれたのがきっかけでした。私もあのお店の人みたいにみんなの爪をアレンジする人になりたいと思いました。私はその夢を叶えるために今、付け爪で練習しています。春・夏・秋・冬に合わせて色や飾りを変えて練習するようにしています。友だちにすごいねと言われることもあってうれしいです。

私はこの夢を叶えるために、もっともっとたくさん努力したいです。

今月のベストスマイル



編集後記

新緑の季節を迎え、思わず深呼吸したくなるような気持ち良さを感じます。

今月号の表紙は、町立小・中学校の入学式での一場面です。表情からとても緊張している様子が伝わってきますが、担任の先生から名前を呼ばれると元気に返事をすることができました。ピカピカのランドセルをうれしそうに背負い、これから始まる学校生活にドキドキ・ワクワクの子どもたちを見ていると、自分も何か新しいスタートを切りたいなという気持ちになります。

新年度を迎え、さらに充実した生活のために昨年ではできなかったことにチャレンジすることはいかもしれませんね。

平成29年度の広報制作がスタートしました。昨年よりも充実した内容にしていくとともに、今年度はできるだけ多くの町民の皆さんとお会いしてお話を伺い、皆さんの笑顔に出会い、それを紙面で紹介していきたいと思っています。

平成29年度も広報ふたばをよろしくお願いします。

双葉町社会福祉協議会(加須事務所)のお花見に参加した菊地道子さん(山田・左)と小西成子さん(両竹・右)の笑顔です。

連絡先

○いわき事務所 〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19-4
☎ 0246-84-5200 FAX 0246-84-5212、0246-84-5213
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所 〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所 〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所1階
☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>
携帯サイト <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/m/>

○双葉町公式ブログ「ブログ ふたばのわ」
<http://futabanowa.wordpress.com/>

